



アンケート名：海の安全と海洋権益の保全について ―海上保安庁の役割―

問. 1 あなたは、海に対してどのようなかわり方をしていますか。（複数選択可）

1. 海を直接の仕事場としている
2. 陸上で海に関わる仕事をしている
3. マリンレジャーで月一回以上海を利用している
4. マリンレジャーで年に数回海を利用する程度である
5. ドライブや散歩などでよく／たまに海辺に行く
6. 海浜の清掃などボランティア活動をしている
7. 海とは全くかわりがない
8. その他

問. 2 問1で3、4番（マリンレジャー）と回答された方におたずねします。主にどのようなマリンレジャーを楽しまれていますか。（複数選択可）

1. 海水浴
2. サーフィン（ウィンドサーフィン、ボディボードを含む）
3. ダイビング・シュノーケリング
4. 磯釣り（防波堤など、陸上からの釣りなどを含む）
5. 船釣り（遊漁船など、所有するボート以外を利用するもの）
6. クルージング（客船・レンタルボートなど、所有するボート以外を利用するもの）
7. 水上オートバイ（所有するもの以外を利用するもの）
8. 水上スキー・ウェイクボード（所有するもの以外を利用するもの）
9. 所有するボート等を利用したレジャー
10. その他

問. 3 問2で4～9番を回答された方におたずねします。その際、救命胴衣を着用していますか。次の中から一つお選びください。

1. 着用している
2. 着用する場合としない場合がある
3. 着用していない

問. 4 問3で2、3番（着用していない）を回答された方におたずねします。救命胴衣を着用しな

かった理由は何ですか。（複数選択可）

1. 面倒だから
2. 動きにくいから
3. 暑いから
4. 必要性を感じにくいから
5. 値段が高いから
6. その他

問. 5 あなたは海に対して不安を感じることがありますか。次の中から一つお選びください。

1. 大いに感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらとも言えない
4. あまり感じていない
5. 全く感じられない

問. 6 問5で1、2番（不安を感じている）と回答された方におたずねします。その不安の主な要因はなんですか。（複数選択可）

1. 大規模の地震津波災害（昨年12月のインド洋大津波など）
2. 台風による高波・高潮（昨年10月の台風23号など）
3. 海難事故（遭難、衝突、船舶火災など）
4. 海上交通路の閉塞（東京湾、伊勢湾、瀬戸内海等での物流の遮断を伴う大規模海難）
5. 海上におけるテロ（昨年2月にフィリピン・マニラ沖で発生したスーパーフェリーの爆破火災テロなど）
6. 不審船・工作船（平成13年12月の九州南西海域における工作船事件など）
7. 海賊・海上武装強盗（今年3月の「韋駄天」号乗組員誘拐事件など）
8. 他国公船の領海※①・排他的経済水域※②への入域（中国海軍潜水艦の領海侵犯、わが国の同意のない海洋調査など） ※①、※②については、参考資料1「用語説明」をご参照下さい。（以下同じ。）
9. 周辺国の領有権主張活動（昨年3月の中国人活動家による魚釣島不法上陸など）
10. 周辺国との漁業権問題（今年5月に対馬沖で発生した韓国あなごかご漁船の立入検査忌避事件など）
11. 周辺国との資源開発問題（東シナ海における中国のエネルギー資源採掘など）
12. 海洋環境の破壊（タンカーからの油流出事故など）
13. その他

問. 7 海上保安庁は「海上の安全及び治安の確保を図ること」を任務として昭和23年に発足した

機関で、現在は国土交通省の外局として位置づけられています。一方、「わが国の平和と独立を守り、国の安全を保つ」ために設置されている防衛庁の「海上自衛隊」と混同されることがしばしばあります。あなたは「海上保安庁」についてどの程度ご存じですか。次の中から一つお選びください。

1. よく知っている（意識的に情報収集・勉強したことがあるなど）
2. 名前だけでなく、業務についてもある程度知っている
3. ニュースなどで名前は聞いたことがある程度
4. 知らない

問. 8 問 7 で 4 番（知らない）と回答をされた方におたずねします。「海上の安全及び治安の確保を図ること」はどういった機関が実施していると考えておられましたか。（複数選択可）

1. 警察
2. 海上自衛隊
3. 消防
4. 地方自治体（警察・消防を除く）
5. 国のその他の機関（内閣府、外務省など）
6. わからない
7. その他

問. 9 問 7 で 4 番（知らない）以外の回答をされた方におたずねします。あなたと海上保安庁との関わりについてお聞かせください。（複数選択可）

1. 海上保安庁主催のイベント（観閲式、施設の一般公開等）に参加したことがある
2. 海難事故等で救助されるなど現場の海上保安官と関わりを持ったことがある
3. 海上保安庁の出版物等を読んだことがある
4. 海上保安庁のホームページ（HP）を見たことがある
5. 海上保安官の知人がいる
6. 全く関わりはない
7. その他

問. 10 問 7 で 4 番（知らない）以外の回答をされた方におたずねします。海上保安庁には、その任務を果たすため全国約 12000 名の海上保安官が勤務しており、日夜海の安全と秩序を守っています。あなたが海上保安官に対してお持ちの印象はどのようなものですか。次の中から一つお選びください。

1. 大変好感を持っている

2. 好感を持っている
3. どちらでもない
4. あまり好感を持ってない
5. 好感を持ってない
6. わからない

問. 11 問 10 で 6 番（わからない）以外の回答をされた方におたずねします。あなたが「海上保安官」に対してお持ちのイメージを自由にお書きください。

問. 12 問 7 で 4 番（知らない）以外の回答をされた方におたずねします。海上保安庁は「海上の安全及び治安の確保を図ること」を任務として下記選択肢に挙げるように多様な業務に取り組んでいます。選択肢の中から海上保安庁の業務としてあなたがご存じのものをお答えください。（複数選択可）

1. 領海警備
2. 海上におけるテロ対策
3. 国内の密漁や外国漁船の不法操業の取締り
4. 海上環境犯罪の取締りや海洋環境保全活動
5. 密輸・密航取締り
6. 海賊対策
7. 不審船・工作船対策
8. 海難救助
9. マリンレジャーの安全推進
10. 海上災害対策
11. 航海のために必要な海図等の刊行や気象、海象等の安全情報の提供
12. 気象、海象に関する観測や海洋調査
13. 航路標識（灯台など）の整備
14. 海峡など船舶通行量の多い海域での船舶の航行管制
15. 他国の海上保安機関への支援・連携
16. その他

問. 13 問 7 で 4 番（知らない）以外の回答をされた方におたずねします。あなたが「海上保安庁」に対してお持ちのイメージを自由にお書きください。

問. 14 最近話題として取り上げられることが多くなった、「海洋権益」についておたずねします。あなたは「日本の海洋権益」という言葉を聞いて、まずイメージするものは何ですか。次の中から最大 3 つまでお選びください。

1. 東シナ海における中国の海底エネルギー資源開発問題

2. 尖閣諸島に対する周辺国の領有権主張活動
3. 竹島、北方領土に対する他国の不法占拠問題
4. 中国が沖ノ鳥島に対して排他的経済水域をもたない岩だと主張している問題
5. わが国の排他的経済水域における外国漁船の違法操業問題
6. 国連海洋法条約に基づく大陸棚※③の限界の延長
7. 韓国が日本海の呼称として「東海」を主張している問題
8. その他

問. 15 問 14 で回答された選択肢の中であなたが最も重要と考える問題を一つお選びください。

1. 東シナ海における中国の海底エネルギー資源開発問題
2. 尖閣諸島に対する周辺国の領有権主張活動
3. 竹島、北方領土に対する他国の不法占拠問題
4. 中国が沖ノ鳥島に対して排他的経済水域をもたない岩だと主張している問題
5. わが国の排他的経済水域における外国漁船の違法操業問題
6. 国連海洋法条約に基づく大陸棚※③の限界の延長
7. 韓国が日本海の呼称として「東海」を主張している問題
8. その他

問. 16 海上保安庁では、わが国の海洋権益の保全のために、領海警備の強化や外国漁船の不法操業の取締り、大陸棚の限界画定調査などを推進しています。問 15 で回答された選択肢について、こうした国の取組みをどのように評価されていますか。次の中から一つお選びください。

1. 十分な対策を講じている
2. 最低限の対策は講じている
3. 対策は講じているが不十分だ
4. 対策を講じているとは言えない
5. わからない

問. 17 問 15 で回答された選択肢について、国が果たすべき役割について具体的なご意見があればお聞かせください。

問. 18 領海・排他的経済水域だけでも国土面積の約 12 倍という広大な管轄海域における、多種多様な海上保安庁へのニーズに応えるためには、今後どこに重点を置いて体制を整備すべきとお考えですか。次の中から一つお選びください。

1. 海上保安官の増員

2. 巡視船艇・航空機などの装備の刷新・増強
3. 衛星や船舶自動識別装置※④の活用など情報収集体制の充実
4. 漁協や海上における自警団など民間団体・NPO等の支援・連携
5. 関係省庁・地方自治体との連携の強化
6. わからない
7. その他

問. 19 海難事故の防止に関しておたずねします。海上保安庁ではマリナー中での事故による死者・行方不明者を減少させる観点から、プレジャーボートに対する安全指導や立入検査を行っています。このことについてあなたはどのようにお考えですか。次の中から一つお選びください。

1. 安全確保のためには必要なので積極的に推進すべき
2. 安全確保は重要だが、大規模海難を生じさせないようなものにまで指導や立入検査を実施するのは非効率だ
3. 安全確保は重要だが、指導や立入検査によってマリナーの楽しみを阻害すべきではない
4. マリナー中での事故は自己責任なので、国が指導や立入検査までする必要はない
5. わからない
6. その他

問. 20 海上保安庁では、海上における事件・事故の緊急通報用電話番号として、警察の 110 番や消防の 19 番のように覚えやすい、局番なし 3 桁電話番号「118 番」の運用を 2000 年 5 月 1 日から開始しています。あなたは、この緊急通報用電話番号「118 番」をご存知でしたか。

1. 知っていた（番号も知っているし、どのような目的で使用する番号なのかも知っている）
2. 番号だけは知っていた（どのような目的で使用する番号なのかは知らない）
3. そのような番号があるということは聞いたことがある
4. 知らなかった

問. 21 問 20 で 1、2、3 番（少なくとも聞いたことはあった）と回答された方におたずねします。どのような媒体からお知りになりましたか。（複数選択可）

1. 海上保安庁の広報関連ポスター
2. 海上保安庁ホームページ
3. 海上保安レポート
4. その他

問. 22 あなたが海上保安庁に期待する分野は何ですか。次の中からお選びください。（複数選択可）

1. 海洋権益の保全
2. 海上における治安の確保（テロ対策を含む）
3. 人命救助
4. 海洋環境の保全
5. 自然災害・事故災害への対策
6. 海洋の科学的調査、情報提供
7. 船舶交通の安全のための航行支援
8. 他国の海上保安機関との連携
9. その他

問. 23 問 22 で回答された選択肢の中で最も期待することを一つお選びください。

1. 海洋権益の保全
2. 海上における治安の確保（テロ対策を含む）
3. 人命救助
4. 海洋環境の保全
5. 自然災害・事故災害への対策
6. 海洋の科学的調査、情報提供
7. 船舶交通の安全のための航行支援
8. 他国の海上保安機関との連携
9. その他

問. 24 問 23 で回答された選択肢に対して、具体的なご意見があればお聞かせください。（自由回答）

問. 25 海上保安庁では平成 13 年から、従来の「海上保安白書」に替え「海上保安レポート」を毎年海上保安の日（5 月 12 日）に発刊しています。（過去のレポートはインターネット <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/books/index.htm> にて全文公開中）あなたは海上保安レポートをお読みになったことがありますか。

1. 毎年読んでいる
2. 読んだことがある
3. 書店等で見かけたことがある
4. 読んだことはないが、名前は聞いたことがある
5. 初めて知った

問. 26 問 25 で 1、2 番（読んだことがある）と回答された方におたずねします。海上保安レポートを読んでみようと思われた理由は何ですか。（複数選択可）

1. 最近の海洋に関わる社会問題の理解を深めるため
2. 海上保安庁の業務に興味があったため
3. 海上保安官になる方法が知りたかったため
4. 特集記事や掲載写真に関心を持ったため
5. 特に理由はない
6. その他

問. 27 参考資料 2「海上保安レポート 2005 概要」をご覧ください、どのような感想を持たれましたか。次の中から一つお選びください。

1. 購入して読んでみたい
2. 読んでみたいが購入するには値段（1470 円）が高い
3. あまり読みたいとは思わない
4. 読みたくない・興味がわからない
5. その他

問. 28 問 27 で 1、2 番（読んでみたい）と回答された方におたずねします。どの記事に興味を持たれましたか。（複数選択可）

1. 特集 1 海洋権益の保全とテロ対策
2. 特集 2 海保の救難
3. 本編 治安の確保
4. 本編 生命を救う
5. 本編 青い海を護る
6. 本編 災害に備える
7. 本編 海を識る
8. 本編 航海を支える
9. 本編 海をつなぐ連携
10. TOPICS（海上保安の一年）
11. 海を仕事に選ぶ
12. 海保の新戦力
13. その他

問. 29 問 28 で回答された選択肢の中で、最も興味を持った記事を一つお選びください。

1. 特集 1 海洋権益の保全とテロ対策
2. 特集 2 海保の救難
3. 本編 治安の確保
4. 本編 生命を救う

5. 本編 青い海を護る
6. 本編 災害に備える
7. 本編 海を識る
8. 本編 航海を支える
9. 本編 海をつなぐ連携
10. TOPICS（海上保安の一年）
11. 海を仕事に選ぶ
12. 海保の新戦力
13. その他

問. 30 問 27 で 2 番（読んでみたいが購入するには値段が高い）と回答された方におたずねします。
価格がいくらぐらいであれば購入しようと思いますか。次の中から一つお選びください。

1. 1400 円
2. 1200 円
3. 1000 円
4. 1000 円未満

問. 31 広報誌や年次報告書（例えば海上保安レポート）において、海上保安庁が「発信したほうが良い」または「発信すべき」情報について具体的なお意見があればお聞かせください。
（自由回答）